

しまね広域スポーツセンター

—— しまね広域スポーツセンターのあゆみ

広域スポーツセンターは、生涯スポーツ社会の実現に向けた、地域におけるスポーツ環境整備のための重点施策である「総合型地域スポーツクラブ（以下 総合型クラブ）」の設立・運営、および圏内におけるスポーツ活動全般について、効率的な支援を目的として全国各地に設置されている。

本県においては、平成17年に島根県体育協会事務局内にしまね広域スポーツセンター（以下 広域スポーツセンター）事務局を設置、島根県から本協会に事業委託された。スポーツの機会を提供する公的主体として、利用する住民や競技者が一体となった取り組みを積極的に展開し、一層のスポーツ振興を図ることが期待されることである。

本協会ではこれに先がけ、市町村体育協会との密接な連携と協力のもと、文部科学省の委託事業として「総合型クラブ育成モデル事業」や「総合型クラブ育成推進事業」を実施し、地域住民による主体的な総合型クラブ設立に向けた取り組みの支援を行っていた。



島根県総合型地域スポーツクラブ連絡協議会を設立



マネジメント講習会

—— これまでの活動と現状

広域スポーツセンターとしては、総合型クラブ設立を目指す市町村に対しての専門的な「スポーツ指導者派遣」や「市町村巡回指導」、総合型クラブ運営の中核となる「クラブマネジャー養成」とそのスキルアップのための「マネジメント講習会」等を行い、新規クラブ設立支援から既存クラブの育成まで、さまざまな事業を展開してきた。

さらに、「総合型クラブ連絡協議会」を広域スポーツセンター内に設置し、設立された総合型クラブの運営安定、クラブ間での情報交換・連携を図ってきた。平成21年、25年、30年には、クラブ運営に必要な情報の共有や全国のクラブとのネットワーク強化を目的に、中国ブロッククラブネットワークアクションを開催した。特に、平成30年開催時には、島根県教育魅力化特命官 岩本悠氏による講演会や、JAしまね女性部コラボ企画として島根米おむすびの試食会を開催するなど、島根県ならではのプログラムで連携意識の向上に努めた。

県内総合型クラブについては、広域スポーツセンター設置当初は「4市町村10クラブ」の設置数であったが、



スポーツ・レクリエーション祭 フェンシング



スポーツ・レクリエーション祭 スポーツウエルネス吹矢

平成22年には設立準備委員会を含め全市町村に総合型クラブが設置され、市町村設置率100%を達成した。しかしながら、令和6年3月末時点では「11市町村33クラブ」となっている。

また、広域スポーツセンターでは、県民の生涯スポーツ推進役として、「県民の健康増進、スポーツ・レクリエーション活動の普及・振興」を目的に、平成25年より島根県から島根県スポーツ・レクリエーション祭（以下スポレク祭）の開催を受託し、島根県レクリエーション協会や島根県障害者スポーツ協会、島根県担当課等の生涯スポーツ関連団体と連携し開催している。

現在、スポレク祭には、単一種目の多世代交流の場として競技団体により実施される「種目別大会」、多種目で多世代交流の場として市町村・地区レクリエーション協会・総合型クラブにより実施される「スポレク広場」、島根県スポーツ協会を始め関連団体と連携して実施する「しまねレクリエーションフェスティバル」の3つのイベントがある。

平成25年のスポレク祭受託初年には、障がいの有無や年齢などに関係なく誰もが楽しめるスポーツイベントとして、「しまねレクリエーションフェスティバル」を鹿島総



しまねレクリエーションフェスティバル 車椅子バスケットボール



中国ブロッククラブネットワークアクション

合体育館にて初めて開催した。平成27年からは石見地域（島根県立体育館：浜田市）でも開催し、以後、コロナ禍にあっても中止することなく、現在まで出雲地域・石見地域の県内2会場で実施している。

開催にあたっては、障がいのある人への配慮について理解を高めるために、スタッフを対象としたあいさつ研修を行うとともに、会場では、車椅子バスケットボール、ゴールボール、シットイングバレーボール日本代表選手のデモンストレーションや、ボッチャ等のパラリンピック競技の体験等を行い、毎回、多くの参加を得ている。

—— 今後の展望と課題

総合型クラブの育成が開始されてから30年以上が経過した現在、全国的に変革の時期を迎えており、令和6年度から登録制度、令和7年度からは認証制度の本格運用が開始される。多くの総合型クラブが世代交代や財源確保といった課題を抱える中、部活動地域移行の受け皿やスポーツ少年団との連携など、さまざまな面から地域スポーツの普及・促進に貢献することが求められている。引き続き県内総合型クラブの育成・支援に力を注いでいくこととしている。

また、スポレク祭については、コロナ禍で参加者が低迷していた。今後はコロナ禍前を超える集客を目標に、競技団体や関係団体と協力しながら誰でも楽しむことができるスポーツイベントとして開催していきたい。

広域スポーツセンターとして各事業を通し、県民誰もがスポーツに親しむことができる生涯スポーツ社会の実現を目指していく。